

**かっぱのトピック**

大好きな松山を笑顔あふれるまちにするため、就任直後からスタートし、全41地区を二巡させていただいているタウンミーティング。地域の「生の声」から多くの「気付き」があり、私の市政運営に大きな役割を果たしました。

**現場・現** 第一に、地域に向き、地域の魅力や課題を市民の皆さんと直接話し合い、「一緒にまちづくりを進めてきました。そのうち、まちづくりの主役である市民の皆さんに、まことに「愛着や誇り」を持ち「笑顔」になっていただけたらと思っています。

こうした中、今年、出版社

**「誇れる」行政サービスで笑顔に**

当初の目標を大幅に上回るペースで実施したタウンミーティングは10月末に二巡目が終了する予定で、実現可能な意見から事業化するなど「市民が主役のまちづくり」を推進しました。また福祉総合窓口の開設や職員の窓口対応力向上を目的とした市役所接客コンテストの実施、税金や保険料などのコンビニ収納の開始など、市民サービスの向上を図りました。



①タウンミーティング、地元の意見をもとに事業化された②はりえ海の駅「うみてらす」整備、③味噌小学校前歩道橋改修

**「誇れる」ことばで笑顔に**

「俳句甲子園」をはじめ、「街はことばのミュージアム」、「この街でウェディング」、「響け!!! 言葉「ことばのがっしょう」群読コンクール」といった「ことばのちからイベント」が平成25年10月、「グッドデザイン賞」を受賞するなど、「ことばを大切にすまち松山」を全国発信したほか、農業・漁業などの体験学習やスクールミーティング、中学生の英語力向上など、子どものコミュニケーション能力向上を図りました。



街の至る所に「ことば」を掲示、体験学習「立岩ダッシュ村」

**市政特集 一人でも多くの人を笑顔に**  
～現場・現地の声を大切にし、市政に生かす～



**「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に**

事業者や大学生消防団の創設など地域防災力の強化を図り、市内の自主防災組織率は100%、自治体別の防災士数および女性消防団員数は日本一となりました。それらの取り組みが評価され平成26年2月、「防災まちづくり大賞消防庁長官賞」を受賞しました。また小中学校校舎や公民館など市有施設の耐震化やAED設置促進、松山外環状道路の整備、新規水源の確保に向け、「水問題に関する協議会」幹事会で協議するなど、安全・安心なまちづくりを推進しました。



①郵便局員の消防団、②大学生消防団、③平成25年5月に発隊した機動重機消防団、耐震化された垣生小学校校舎、通学路緊急合同点検

**「誇れる」子育てで笑顔に**

待機児童の多い地域に保育所を新設するなど保育定員の拡充に努めるとともに、家庭的保育や事業所内保育施設の拡充に取り組み、平成26年4月、「待機児童ゼロ」を達成しました。また保育園、幼稚園などの園庭芝生化やいじめ・虐待・不登校対策強化、放課後子ども教室や児童クラブの拡充を図り子どもの居場所づくりや子育て環境の充実に取り組みました。



園舎が増設された味生保育園、放課後子ども教室で学習する児童、園庭解放された粟井保育園

**「誇れる」福祉・医療で笑顔に**

障がい者の働く場づくり、自立に向けたサポートを行うため、古着や廃食用油の再資源化に取り組んだほか、高齢者の生きがいづくりを目的に遊休農地などを活用したサロン農園をスタートしました。また個別妊婦歯科健診や節目歯周疾患検診を開始するとともに、平成26年4月から特定健康診査を無料化するなど予防医療の充実に取り組みました。



自己負担分が無料となった特定健康診査、男性参加者が増加したサロン農園、40歳以上の特定年齢を対象とした節目歯周疾患検診

「一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山」をキャッチフレーズに平成22年11月からスタートした野志市政。タウンミーティングを中心に市民一人一人の声を市政に生かし行政サービスの向上を図るとともに、市内外に松山の魅力を積極的に発信しました。今回は7つの公約ごとに市政への取り組み成果をお知らせします。

**「誇れる」まちの長所を活かし笑顔に**

まちを元気にするため、さまざまなスポーツイベント誘致や農林水産物などのトップセールスを積極的に行うとともに、県と連携し企業誘致や「えひめ・まつやま産業まつり」を実施しました。さらに、歩いて暮らせるまちづくりを推進するため花園町通りで社会実験やにぎわい再生に取り組んだほか、平成26年4月から約31億円規模の中小企業支援プログラムを開始しました。平成25年3月にはサンシャインプロジェクトやごみ減量の推進など本市の環境施策が評価され、国から「環境モデル都市」に選定されました。



平成24年に開催されたプロ野球オールスターゲームは、地方球場としては初の2回目、平成23年から開催している、えひめ・まつやま産業まつり、創業支援などを目的に開設された、まつやま経営交流プラザ(上)と、平成26年6月に設置された中小企業振興円卓会議、ラフォーレ原宿・松山跡地に平成27年夏オープン予定のホテル・商業施設完成イメージ、花園町通りでのライトアップイベント、県と連携し成田-松山便を誘致(平成25年6月)

**「誇れる」地域の宝を磨き笑顔に**

ブランドメッセージ「いい、加減。松山」や「オリジナルアニメ」、さらには「おもてなし日本一のまち」宣言を通して、松山の魅力を全国発信したほか、瀬戸内海や道後温泉といった「宝」を磨き国内外から多くの観光客を誘致、平成25年11月には観光庁から「京都～広島～松山」ルートが「新ゴールデンルート」として提案されました。また、三津浜・北条地区・島しょ部などで地域住民と連携した集客イベントを開催するなど、にぎわい創出に取り組んでいます。



道後温泉本館改築120周年を記念し、国際芸術祭「道後オンセナート2014」を開催、オリジナルアニメは、観光映像大賞特別賞などを受賞、「ミシュラン・グリーンガイド SHIKOKU」公開を記念し運行されているラッピングバス、①地域交流拠点として再整備した北条鹿島博物館展示館、②島しょ部での体験イベント、③イベントでにぎわう三津浜商店街

お問い合わせは、企画政策課 ☎948-6341・☎934-1804へ